

Catch up **滋賀医大** : **滋賀医大ニュースレター**
第22号

著者	滋賀医科大学
発行年	2013-04-10
URL	http://hdl.handle.net/10422/9114

滋賀医大ニュースレター

Catch Up 滋賀医大

2013.04.10 第22号



学内保育所「あゆっこ」に病児保育室がオープン

H25.01.07

1月7日(月)から、男女共同参画推進事業の一環として、学内保育所「あゆっこ」に以前から要望のありました病児保育室が設置されました。

なお、同日行われましたオープニングセレモニーの様子は、ZTV 滋賀放送局 コミュニティチャンネルで放送されました。

本学教職員の子供が、病中や病後に保育所や幼稚園へ登所・登園できない場合に病児保育室で預かることにより、教職員が安心して勤務に従事でき、円滑な病院診療や充実した教育・研究活動を可能とする環境整備の一助として期待されています。



オープニングセレモニーにおけるテープカットの様子

社会医学講座医療統計学部門 村上准教授が日本疫学会奨励賞を受賞

H25.01.26



奨励賞受賞式にて
(中央：村上准教授)

社会医学講座(医療統計学部門) 村上義孝准教授が「日本における循環器疾患の大規模コホート統合データベースの構築と解析」の研究成果により、第23回日本疫学会学術総会にて奨励賞を受賞しました。

本学社会医学講座が推進する疫学共同研究の一つである本研究におい

て、村上准教授の長年の実務・研究業績が評価された結果であります。

日本疫学会奨励賞は、わが国における将来有望な若手疫学研究者を対象とした賞であり、本年は1月26日に大阪大学で開催の総会において表彰されました。

細野民主党幹事長らがバイオメディカル・イノベーションセンターを訪問

H25.02.17

細野民主党幹事長、川端元総務大臣、三日月衆議院議員らが、去る2月17日に滋賀医科大学にあるバイオメディカル・イノベーションセンターを視察に訪問されました。

馬場学長の挨拶および「アジア疫学研究センター」構想の説明後、外科学講座 谷教授から「次世代画像誘導低侵襲医療システムの研究開発」と「マイクロ波応用手術機器の開発」および「酸化チタン加熱による医療廃棄物処理機の開発」等、世界最先端プロジェクトについての説明を受けられました。

続いて、共同研究棟内の動物実験用MRI室を見学され、外科学講座 仲准教授から「MR画像誘導下内視鏡手術システム」の模擬操作とその説明を受けられました。さらに同室に展示しているマイクロ波応用手術デバイスの見学後、外科学講座 塩見講師から地域イノベーション戦略支援プログラムの成果物として内視鏡手術マニピュレータの説明を受けられ、細野民主党幹事長らが実際に操作を体験するなど、精力的に視察されました。



内視鏡手術マニピュレータを操作する細野幹事長

滋賀医科大学内簡易郵便局がリニューアル・オープン

H25.03.04



新しくなった簡易郵便局内の様子

平成 25 年1月 17 日(木)より改修を行っていました滋賀医科大学内簡易郵便局(本学附属病院1階)が、平成 25 年3月4日(月)にリニューアル・オープンしました。

従来の簡易郵便局よりスペースを拡張するとともに、間口を広く、カウンターについても、一段低い部分を設ける等、車椅子の方にも優しい設計にしました。

今後とも、滋賀医科大学内簡易郵便局をよろしく願います。

外国人留学生との交流会「国際交流の夕べ」を開催

H25.01.09

平成25年1月9日(水)、本学福利棟食堂において、外国人留学生との交流会「国際交流の夕べ」を開催しました。

交流会には、本学に在籍している外国人留学生、外国人研究者をはじめ、日頃より留学生をご支援いただいている外部関係団体の方々、教職員など、総勢90名余が集い、親睦を深める機会となりました。

今回は、「International Students & Researchers: Life at SUMS」と題して、留学生有志8名によるプレゼンテーションがあり、日頃の忙しい研究の合間を縫って、スポーツや日本文化も楽しむアクティブな留學生活の一端を紹介してくれました。

また、昨年11月のバス旅行の折に共感を得た震災復興ソング「花は咲く」を、留学生全員参加のもと、本学混声合唱団とのコラボで合唱してくれました。歌声に込められた熱い思いに一同感動しました。(この合唱のた

めに、年末から自主的な練習に熱心に取り組んでくれた成果です。)

アカペラサークルの「夜空ノムコウ」「Over the Rainbow」の演奏も、留学生がメンバーの一員として参加してくれました。

中央の料理テーブルには、イスラムの留学生による心のこもった手料理も並び、大変好評でした。

会場には、留学生4名の手による生け花が展示され、新春の会場は大変華やいだ雰囲気となりました。また、留学生から提供されたバス旅行や昨年9月の環びわ湖大学・地域コンソーシアム学生支援事業沖島研修、12月の滋賀県留学生交流推進会議交流部会の餅つきの写真等も会場の一角に掲示され、多くの参加者に見ていただくことができました。

最後には、参加者全員が管弦楽団の伴奏で、恒例「琵琶湖周航の歌」を合唱し、和やかな雰囲気の中、お開きとなりました。



留学生自己紹介



震災復興ソング「花は咲く」合唱

「コンプライアンス研修」を実施

H25.01.09, 01.29



1月9日(水)の様子

1月9日(水)・29日(火)の両日に「コンプライアンス研修」を開催し、管理監督の立場にある全教職員を対象に計70名の参加がありました。

外部講師自身の体験に基づいた実例などを踏まえた講義や個人ワーク、グループディスカッションを行うことにより、受講後のアンケートでは、

「理解しやすく勉強になった」「コンプライアンスについて改めて考える機会になった」「日ごろのコミュニケーションの重要性が再認識できた」などの意見が寄せられ、コンプライアンスの本質を学ぶと共に、コンプライアンス違反を防止するための体制づくりについて考える有意義な研修となりました。

地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)事業 成果報告会及び医工連携ニーズ・シーズセッション開催

H25.01.30

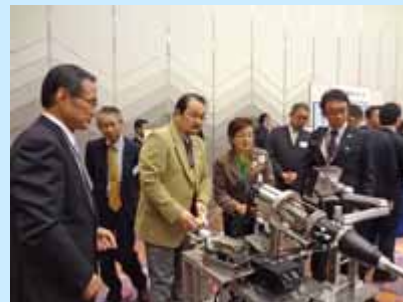
公益法人滋賀県産業支援プラザと滋賀県の主催で、1月30日(水)大津プリンスホテルで「しが医工連携ものづくりクラスター」地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)事業成果報告会及び医工連携ニーズ・シーズセッションが開催されました。

「しが医工連携ものづくりクラスター」地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)は、びわこ南部地域での「医工連携ものづくりクラスター」の形成に向けて、地域の強みである医療機器の高機能化・インテリジェント化・小型軽量化技術を活かし、小規模診療所での高度医療、災害現場での即時かつ高度な診断・治療など「いつでも・どこでも高度先端医療」を実現する次世代診断・治療機器技術の研究開発を平成22年度から実施しています。

当該事業は今年度が最終年度となり、これまで推進してきた研究開発の成果及び事業化の可能性を広く県内企業等に公表・普及するとともに、「しが医工連携ものづくりネットワーク」の参画企業のシーズ・情報等の展示や、産学連携及び産学連携によるマッチングの場を提供することにより、「医工連携ものづくりクラスター」形成の促進を図ることを目的に開催されました。

医工連携ニーズ・シーズセッションには、外科学講座が中心となって開発した「内視鏡手術ロボット」、生化学・分子生物学講座(分子生理学)が開発に参画した「超微量生体標本分析装置」が展示され、参加者の注目を集めていました。

嘉田由紀子滋賀県知事の主催者挨拶があり、多数の出席者で盛況に行われました。本学からは、外科学講座 谷 徹教授が第2グループを代表して「体腔鏡手術ロボティック技術が招く高度先端医療の研究開発」について、事業成果報告を行い、多数の出席者が聴講しました。



内視鏡手術ロボットを熱心に見る嘉田滋賀県知事



内視鏡手術ロボットの先端部



超微量生体標本分析装置

男女共同参画推進のための県民参加のシンポジウムを開催

H25.02.03

平成 25 年 2 月 3 日(日)にホテルポストプラザ草津において、「男女共同参画推進のための県民参加のシンポジウム」を開催しました。参加者は約 70 名でした。

本シンポジウムは、13 時に馬場学長の開会の挨拶から始まり、第 1 部の基調講演では、「パラサイトシングル」と「婚活」という言葉をつくり、家族社会学でご活躍中の中央大学文学部 山田 昌弘 教授を迎え、「男女共同参画は、日本の希望」をテーマにご講演いただきました。

世界経済の状況と同様に、日本経済もニューエコノミーの時代を迎え、女性の労働市場での活用なしに日本の社会的発展はなく、労働現場における労働環境の柔軟な新システム作りが女性を受け入れる体制を整えるために必要であるとお話になりました。

14 時 45 分から始まった第 2 部では、奈良県立医科大学 水野 文子 細菌学教室講師、京都府立医科大学

三沢 あき子 小児科学講師、本学附属病院 安藤 光子 看護師長、及び本学外科学講座 梅田 朋子 特任講師の 4 名のパネリストから、複数の社会的役割を持ちながら研究や臨床の医療分野で活躍されている現状の報告がありました。

その後、本学学長補佐(女性研究者支援担当)尾松 万里子 生理学講座准教授が座長を務めるパネルディスカッションを行い、山田教授を交えてパネリストと活発に意見を交換し、ディスカッション終盤においては、会場の参加者からの様々な意見や質問にも答えていただきました。

最後に谷川理事から、本シンポジウムの成果を男女共同参画推進に活かしていきたいとの挨拶があり、閉会を迎えました。



中央大学文学部 山田 昌弘 教授による基調講演の様子



質疑応答の様子

「今時の学生」問題と教育方法改善に関する FD・SD研修会を開催

H25.02.14

医療人育成教育研究センター教育方法改善部門では、例年この時期に外部から講師を招聘し、授業評価に関するFD研修会を開催していますが、今年度は、教員の先生方が日頃から問題意識を持っておられる学生の授業態度やマナーの低下問題に焦点を当て、「今時の学生」問題と教育方法改善に関するFD・SD研修会と題して実施しました。

特に今回は、「里親学生支援室」が別途計画していた研修会と同一の内容であったことから、同支援室と共催として、また、NPO 法人滋賀医療人育成協力機構の後援として開催しました。

研修会では、まず、社会医学講座（衛生学） 埴田准教授から「教職員が遭遇している『今時の学生』問題」として講演がありました。講演では、「里親学生支援室」が別途調査した「今時の学生」問題に関するアンケート結果を基に、教職員が学生をどのように感じているのかについて講演いただきました。

続いて、精神医学講座 山田教授から、「学生の授業態度や学生生活上のマナーの低下問題について」と題して講演がありました。講演では、

先生の周囲で起こった事例や、独自に教員から聞かれた話題を基に講演いただき、先生からは、果たして我々教員は学生に対し礼儀作法を教えてきたのだろうかという問題提起がありました。

最後に、学生の授業評価において毎回高い評価を得ておられる、呼吸器内科 長尾講師(学内)から、「私の『授業への取り組み方』」と題して講演がありました。講演では、学生が「欠席して損をした。」と思うような授業を行うため、「目を引くスライドの作成」、「語呂合わせ」、「過去問題の解説」など授業の工夫を行うことが効果的であり、学生に授業内容を理解させるため、何度も同じことを繰り返すことが重要であるとの意見をいただきました。

終了後のディスカッションでは、「授業欠席者に資料を渡すべきか、渡さぬべきか」について意見交換があったほか、アンケート調査では、「躰は家庭の問題であるが、大学で行うことも必要である。」、「学生の服装も問題だが、医師の中にも不適切な者もいる。」、「やはり授業の工夫が必要だと感じた。」などの意見がありました。



埴田准教授による講演



研修会の様子

大学を支える人材を育むための宿泊研修を実施

H25.02.15-16



佛淵佐賀大学長の講演

2月15日(金)～16日(土)に「大学を支える人材を育むための宿泊研修」を長浜ロイヤルホテルにて開催しました。役員及び教職員計79名の参加があり、講演・グループディスカッション・全体討議などを行いました。今回は、昨年11月に包括協定を締結した浜松医科大学から学長以下5名の方の参加もあり、初日の講演を聴講されました。

初日には、馬場学長の挨拶が行われ、続いて佐賀大学長の佛淵孝夫先生により「佐賀大学におけるIRの取り組みについて」と題し、佐賀大学が大学全体でIRの構築に取り組み、IRを経営改善と改革のツールとして活用されている現状についてのご講演を

いただきました。

(IRとはInstitutional Researchの略で、大学運営(経営)のために計画策定、政策決定、意思決定を支援するような情報を提供することです。)

2日目には、「滋賀医科大学のミッションの共有と発信」をテーマとしてグループディスカッションを行いました。各班より「研究活性化のための提案」や「医療人研究者の養成(学生へのアプローチとしての提案)」など様々な意見が出され、その成果について全体討議を行い、最後に馬場学長より講評がありました。

2日間を通して、大学の今後のあり方について考える機会となり、有意義な研修となりました。

第29回滋賀医科大学シンポジウムを開催

H25.02.28

平成25年2月28日(木)に、准講会の主催により「第29回滋賀医科大学シンポジウム」が開催されました。

馬場学長の開会挨拶の後、セッション1では山本寛(外科学講座)、茶野徳宏(臨床検査医学講座)が、また、セッション2では西田保裕(眼科学講座)、岡山久代(臨床看護学講座)がそれぞれ座長を務め、計13の演題

の発表が行われました。演者は学部学生から留学生までと多彩な顔ぶれであり、かつ多方面からの研究成果が発表され、これからの滋賀医科大学を担う若手研究者への期待が膨らむ内容でありました。延べ70名の参加者が集い、熱心に演者の講演に聞き入るとともに、活発な意見交換がおこなわれました。



会場の様子

男女共同参画推進のための講演会を開催

H25.03.01



イクメントークの風景

平成25年3月1日(金)に「仕事と育児・介護の両立」～“イクメン”“介男子”になろう！～というテーマで、東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長 渥美 由喜氏を招き、講演会を開催しました。

渥美氏は、ワークライフバランスに関する分析や実践の方法を説明されました。ワークの面では、今後の介護ニーズの上昇に向けて、それまでに対応できる職場環境づくりが大切であるというお話や、ライフの面では、

夫が育児をすると妻が楽になると言うが、育児経験をすることで介護が楽になるというお話があり、ご自身の体験を交えながらの明確な説明や分析に、参加者もうなずく場面がありました。

講演の後は、本学のイクメン職員を含め、「イクメントーク」を開催しました。フロアとのトークも活発で、参加者の方々からのご意見をいただくことが

ひな祭りコンサートを開催

H25.03.01

3月1日、病院玄関ホールにて、琴城流大正琴 琴耀会 5 名をお迎えして、恒例のひな祭りコンサートを開催しました。

「たのしいひな祭り」のオープニング曲から、「月光仮面は誰でしょう」、「赤いスイトピー」など懐かしい 9 曲を演奏してくださいました。歌詞カードが配布された「花は咲く」、「琵琶湖周航の歌」は、80 名以上の患者さんやその御家族、病院職員が音色に合わせて口ずさみ、大きな合唱となりました。

美しい大正琴の音色に心を癒され、楽しいひとときを過ごすことができました。

また、ステージ後方には、2月26日より看護部華道部 OB のご協力でお花のひな壇が飾られ、一層の華やかさを添えていました。

コンサート当日、外はあいにくの雨模様でしたが、会場には一足早い“春”が訪れてくれました。

今後も季節ごとの楽しいイベントを企画し、患者さんに喜んでいただけるよう努力していきたいと思っております。御協力いただきましたすべての皆さま、ありがとうございました。



ひな祭りコンサートの様子

JST研究成果最適展開支援事業「汎用MRを使う生体内部構造透視画像下内視鏡手術システムの開発」最終報告会開催

H25.03.05

外科学講座 谷 徹 教授等は、平成21年12月から独立行政法人科学技術振興機構の研究成果最適展開支援事業(A-STEP 本格研究開発シーズ育成タイプ)に採択された「汎用MRを使う生体内部構造透視画像下内視鏡手術システムの開発」について、研究開発を継続していますが、このたび一つの区切りとして3月5日(火)午後2時から本学クリエイティブ・モチベーションセンターにおいて最終報告会が開催されました。

この報告会では、株式会社町田製作所、山科精器株式会社、サンエー精工株式会社、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社の本事業参画機関、本学学生及び関係者参加の下、本学を含む各参画機関から事業成果報告が行われました。

報告会終了後、本事業において大変興味深い成果が得られたことが確認され、更なる事業継続の提案がありました。



報告会の様子

平成 24 年度滋賀医科大学卒業式及び学位授与式

H25.03.07



馬場学長から卒業生一人ひとりに学位記が手渡されました

平成 24 年度卒業式が、3月7日(木)に本学体育館で挙行政され、医学科学生109名、看護学科学生65名が卒業しました。

卒業式では、学位記の授与、学生表彰に続き、馬場学長から告辞があり、「「初心」を大切に、日々の努力を重ね、人格を磨き、苦難に直面しても正面から立ち向かう気概で「志」を高くもって取り組んでください。」と激励されました。最後に、卒業生代表の謝辞があり、卒業式を終了しました。

午後からは、管理棟3階の大会議室において大学院学位授与式が挙行政され、博士(医学)23名、修士(看護学)15名に学位記が授与されました。

引き続き、各賞の授与式が行われ、馬場学長及び柏木病院長から各受賞者に賞状と副賞が手渡されました。

滋賀県奨学金受給学生との第1回懇談会を開催

H25.03.08

3月8日(金)夕刻、滋賀医科大学医学部附属病院で、滋賀県から奨学金等を受給している同大学医学科学生10名と滋賀県医師キャリアサポートセンターとの第1回懇談会を開催しました。

懇談会では同センターの太田専任医師から、日本の医療とその中での滋賀県の位置付け、医師の心得、医

師のキャリア形成などについて紹介があり、最後に学生からの初期研修などの質問に答えて終了しました。

滋賀県医師キャリアサポートセンターHP:
<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>



懇談会の様子

非常用発電機の設置運用に伴う全学停電を実施

H25.03.16



新設した 2ディーゼル発電機

平成25年3月16日(土)12時30分から、非常用発電機の1基更新と1基新設の運用に伴う停電は皆さまのご協力により無事終了いたしました。

停電時の動作確認、関西電力との同期確認は完了し、今後は今までの

2倍の能力の 3000kVA の非常用発電機にて運用を行います。ご協力ありがとうございました。

びわこ文化公園都市 知の連携プロジェクト「健康寿命の延ばしかたセミナー」開催

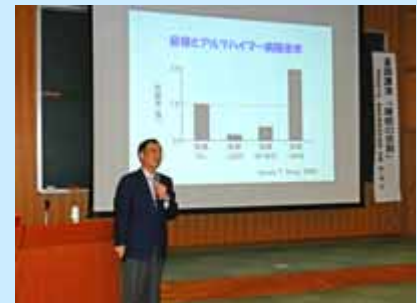
H25.03.23

平成25年3月23日(土)に、知の連携プロジェクト実行委員会(滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学、大津市、草津市、滋賀県)の主催により、県立長寿社会福祉センターにおいて、びわこ文化公園都市 知の連携プロジェクト「健康寿命の延ばしかたセミナー」が開催されました。

本セミナーは、県内でも有数の知的資源が集積している「びわこ文化公園都市」に立地する滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学の3大学と、大津市、草津市、滋賀県が一体となり「健康寿命の延ばしかた」について考える機会として開催されました。

本学からは、睡眠学講座 宮崎総一郎特任教授が基調講演「睡眠の役割」を行い、眠りのメカニズム、睡眠と仕事、学習、生活習慣病やこころの病との関係について、わかりやすく、おもしろく説明されました。

基調講演の後、3大学が担当する各分科会に別れ、本学の担当した分科会1では、「より良い睡眠をとるために」をテーマに、目覚めの体操、眠りのストレッチなどを行い、健康寿命について考える「きっかけ」づくりが行われました。当日は150名の参加者が集い、熱心に演者の講演に聞き入るとともに、活発な意見交換が行われました。



講演する宮崎特任教授

第3回ライフサイエンスセミナー開催

H25.03.27



寺本研究員の講演

滋賀バイオ産業推進機構が主催するライフサイエンスセミナーが、3月27日(水)にクサツエストピアホテルで開催されました。

このセミナーは、ライフサイエンス分野への進出や事業化を目指す企業が、大学等のシーズを上手く取り入れながら産学官連携を促進していくことを目指して本学、立命館大学の研究シーズの中から「バイオ機能材料」の

分野からみたライフサイエンスの取組みについて紹介するものです。

本学からは、病理学講座の寺本和雄研究員が、『LAP陽性制御性T細胞および TGF- β に対する選択吸着カラムの癌治療への応用』と題した講演を行いました。

出席者は約40名で、ライフサイエンス関係研究機関・企業等と意見・情報交換を行いました。

平成 25 年 4 月～6 月の行事予定

4 月 3 日	入学宣誓式
4 月 14 日	第 9 回滋賀県脳卒中市民公開講座「脳卒中ともの忘れ」
4 月 17 日	男女共同参画推進のための講演会「女性に生まれると、生涯不利なのか？」
5 月 1 日	平成 25 年度第 1 回 肝臓病教室「肝臓のはたらきと肝機能検査の見方」
5 月 10・11 日	浜松医科大学との学生交流会
5 月 25 日	解剖体納骨慰霊法要

大学概要



所在地：
〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：
1974年10月1日

活動内容：
教育・研究・診療

役員：
学長 馬場忠雄
理事（教育等） 服部隆則
理事（医療等） 柏木厚典
理事（経営等） 高尾孝信
理事（総務等） 谷川成美



担当

企画調整室

TEL: 077-548-2012
FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成 25 年 1 月～平成 25 年 3 月)

教育関係

2013/3/30	読売	学生団体「アトラス」活動 6 年 生活保護世帯の子ら学習支援
2013/3/22	中日	教育連携 より深く 長浜バイオ大と虎姫高
2013/3/15	時事通信	周産期医療の課題解決を
2013/3/7	中日	滋賀医大で出題ミス
2013/3/7	毎日	滋賀医大入試 化学出題ミス
2013/3/7	朝日	滋賀医大の入試 化学で出題ミス
2013/3/7	京都	化学で出題ミス 可否に影響なし
2013/3/5	京都	びわこ文化公園都市 滋賀医大 龍大 立命大 知的資源を地域に還元
2013/2/28	京都	初日、トラブル少なく 国公立大2次前期
2013/2/27	京都	前期日程を終了 国公立大入試2次
2013/2/26	読売	国公立大 2 次試験前期日程 県内3大学 計 2826 人挑む
2013/2/7	中日	国公立出願状況
2013/2/7	読売	国公立出願状況
2013/2/7	毎日	国公立出願状況
2013/2/4	中日	社会の発展には女性活躍不可欠 草津・シンポで山田中央大教授
2013/2/4	河北	東北発の復興の在り方考える 宮城知事ら仙台で討論
2013/2/2	中日	2013 年国公立大学入試出願状況
2013/2/2	読売	2013 年国公立大学入試出願状況 読売
2013/1/24	中日	センター試験
2013/1/20	産経	6000 人が挑戦 県内でもセンター試験
2013/1/7	中日	「希望の連鎖」つくりよう 全国学習会ネットワーク代表 犬飼 公一さん

研究関係

2013/3/8	読売	クローン 26世代で 598 匹
2013/3/8	日経	マウス 1 匹から 26 世代 とぎれぬクローン
2013/3/8	中日	クローン 26 世代 598 匹 マウスで成功「無限に可能」
2013/2/27	アットエス 静岡	血液細胞で食欲抑制 滋賀医大、摂食障害治療に
2013/2/5	医療介護 BC ニュース、キャリアプレス	北陸 6 大学、難病など臨床分野で研究機構－病院連携で 1 万 8000 床確保

病院関係

2013/3/19	京都	被ばく対応 12病院指定
2013/3/15	zakzak	大阪の糖尿病患者から絶大な支持 “テラーメイド”の治療にこだわり
2013/3/4	読売	快適な眠りを学ぶ コツは生活改善にあり
2013/3/3	読売	病院の実力「緩和ケア」
2013/3/2	読売	花粉症 我慢せず専門医に相談
2013/2/27	共同通信	血液細胞で食欲抑制 滋賀医大、摂食障害治療に
2013/2/27	中日 Web	常勤内科医が 1 人増 上野市民病院、小児科は休診
2013/2/27	河北	血液細胞で食欲抑制 滋賀医大、摂食障害治療に
2013/2/15	朝日	病院統合 市民の命は
2013/2/3	読売	病院の実力 脳卒中

2013/1/12	毎日	ご存じですか不妊症
2013/1/6	読売	病院の実力 60 皮膚の病気

社会連携

2013/3/26	読売	第9回滋賀県脳卒中市民公開講座「脳卒中ともの忘れ」
2013/3/24	毎日 web	健康セミナー「知的資源」生かそう 行政や大学連携
2013/3/24	京都	健康へ食事・筋トレ学ぶ
2013/3/21	読売	困難抱える子支援考える 24日草津でリボンフェスタ
2013/3/19	読売	第27回健脚を血管病から守る公開シンポジウム
2013/3/17	京都Web	貧困、小児がん、虐待から子どもを守る 草津で24日シンポ
2013/2/22	朝日	がん医療講演会
2013/2/10	毎日 jp	アイバンク「あなたの善意を」理解求めシンポ—大津
2013/2/9	読売 オンライン	地域医療再編 模索続く～東近江市政の課題
2013/2/9	産経	東近江市課題 公立3病院再編の総仕上げ
2013/2/5	読売	働く女性の増加 経済活性化生む 山田教授が講演
2013/1/31	QLifePro 医療ニュース	糖尿病における栄養と口腔保健の推進セミナー横浜で開催
2013/1/22	京都	男女共同参画推進探るシンポジウム
2013/1/19	中日	女性の活躍知って 滋賀医大シンポ 来月3日・草津
2013/1/13	中日	花粉 食物アレルギー対処法は？
2013/1/13	中日	周産期医療 体制強化へ
2013/1/8	読売 しが県民情報	滋賀医科大学市民公開講座「意外と知らない生活習慣病予防のツボ～ニッポンデータから分かったこと～」
2013/1/4	京都	生活習慣病予防学ぶ公開講座 滋賀医大、京で12日

その他

2013/3/26	京都	琵琶湖政策理事を新設 県異動「子育て応援」担当も
2013/3/14	中日	検案医として長年尽力 草津署 木築さんに感謝状
2013/3/12	中日	医人伝 「総合医」の育成に力
2013/2/19	中日	議会との関係修復を 東近江市長初当選 小椋さん市政へ抱負
2013/2/19	毎日	市長当選・小椋さん「パワフルな地域に」
2013/2/17	中日	“死の事実”見逃さない
2013/2/15	読売	東近江市 市長選 候補者アンケート
2013/2/15	毎日	東近江市長選 候補者の主張
2013/2/14	中日	東近江市長選 候補者に質問
2013/1/23	読売	食育健康サミット 2012 高血圧症の予防と生活習慣の改善
2013/1/14	朝日	女性安心できる職場に
2013/1/9	京都	取材ノートから 原爆ドーム「負の遺産」生かしきろう
2013/1/8	中日	病児保育室 学内に開設 滋賀医科大の教職員向け